



「こうのとりのとり」3号機を搭載したH-II B
ロケット3号機打ち上げの様子
【JAXA様提供】

祝！「こうのとりのとり」3号機搭載H-II Bロケット3号機の 打ち上げ成功！

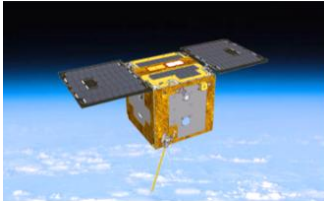
7月21日(土)11時06分、宇宙ステーション補給機「こうのとりのとり」3号機(HTV3)を搭載したH-II Bロケット3号機が、種子島宇宙センターから打ち上げられました。

H-II Bには、当社が開発・製造を担当したロケット搭載カメラ2台と画像圧縮伝送装置(PCE)が、HTV3には当社の超小型衛星(WE WISH)や制御装置を担当した水棲生物実験装置(AQH)がそれぞれ搭載されています。またHTV3で一緒に運ばれるポート共有実験装置(MCE)にも、地球超高層大気撮像観測(IMAP)、スプライト及び雷放電の高速測光撮像センサ(GLIMS)、船外実験プラットフォーム用ハイビジョンカメラシステム(HDTV)、GPS受信機(GPSR)や水晶発振式微小天秤(QCM)などの当社が担当した機器が搭載されています。

今後、「こうのとりのとり」3号機は国際宇宙ステーション(ISS)に接近し、結合する予定です。詳しくはJAXA様のHPをご覧ください。

http://www.jaxa.jp/countdown/h2bf3/overview/payload_j.html

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)



運用中の「SDS-4」イメージ図
【JAXA様提供】

「SDS-4」初期フェーズを終え順調に運用中！

5月18日(金)午前1時39分(日本標準時)に第一期水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W1)の相乗り衛星として打ち上げられた小型実証衛星4型「SDS-4」は、順調に地球の周回軌道を飛行しています。

「SDS-4」では、ミッション機器であるQCM(水晶発振式微小天秤)の他にSバンド通信機、衛星構体、磁気トルカ、GPS受信機、磁気センサ、姿勢系インターフェース装置の開発を当社が担当しました。JAXA様のホームページでは、QCM、Sバンド通信機が正常に動作していることが掲載されています。

<http://www.ard.jaxa.jp/research/jisseyou/sds4/sds4-report.html>

このように、明星電気の観測機器は宇宙の様々な場面で活躍しています。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)



米国マーシャルスペースフライトセンターにて作業する当社従業員(左、右)
【NASA様提供】

NASAホームページに「MMS搭載FPIイオンセンサ」に関する記事が掲載されました。

アメリカ航空宇宙局(NASA)様のホームページに「MMS搭載FPIイオンセンサ」に関する記事が掲載されています。米国マーシャルスペースフライトセンターにおいて、当社従業員が活動している写真も紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

「FPIイオンセンサ」は、明星電気がアメリカ航空宇宙局(NASA)様、サウスウェスト研究所(SwRI)様、宇宙航空研究開発機構(JAXA)様と協力して開発したもので、今年度内にSwRI様へ16台納入されます。

NASA様ホームページ:

http://www.nasa.gov/mission_pages/sunearth/news/mms-collaborates.html

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~人と社会の豊かな環境づくりに貢献する~を

テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。